

【平成 24 年度 遺族アンケートより 意見・感想】

- 夫の入院中は、スタッフ皆様の温かいケアに感謝・感謝するのみでした。ありがとうございました。又、温かいお手紙を添えて頂き涙して拝読致しました。皆様もお変わりなく頑張ってくださいませ。
- 静かな所で、家では出来ないお世話をして頂いて、ありがとうございました。
- 病院から自宅看護を要請されていた所を、当病院に救っていただきありがとうございました。入院中は、先生をはじめ皆様方の手厚い看護を受け、誠にありがとうございました。これから一段と暑くなるおり皆様方のご健康をお祈り申し上げます。
- 今後、患者さんが増える一方なので、希望しても入れず亡くなる方が沢山いるかと思っておりますので、できればもう少し入院できる人数を増やしてほしいと願っております。緩和ケア病棟は、どんなところか不安でしたが見学させていただき、病棟の中・スタッフの方々の対応に感謝しております。
- わがままな伯父の要望に、本当によく応えていただいて感謝しています。桜の季節でしたが、外に出るのも嫌がった伯父は桜を見ることは無理だと思っておりましたが、ある日、病室に桜を飾っていただいてあり、伯父も大変喜んでいたことを覚えています。大変お世話になり、ありがとうございました。
- 大変お世話様になりました。本当にありがとうございました。
- 職員の皆様方の日々の努力により、叔母もやすらかに生を終る事が出来たこと、私もうれしく、又感謝しています。本当にありがとうございました。もし、私がこの先同じような事になった時は、緩和ケア病棟で終わりを迎えたいと思っております。
- 入院中は、スタッフの皆様には大変お世話になりました。感謝しております。
- 昨年 10 月に亡くなった家族の者ですが、本当にやさしく心あたまる看護をして頂き、改めてこの書面をお借りして、先生、又、看護師の方々に心よりお礼申し上げます（その他の職員の方達も含めまして）。もし、自分がこの様な状態になりましたら、思う様にはいかないと思いますが、御世話になりたいと思える様な病棟でした。本当にありがとうございました。残された家族を代表いたしまして御礼申し上げます。
- 最期になる事が分かっていて受け入れ頂けた事、非常に感謝しております。職員の皆さん・先生方の適切な指示（アドバイス）により、戸惑わず、予め準備できた事、又落ち着いてその時を迎えられたのも、先生はじめ看護師さんのあたたかい言葉を頂いたからだと思います。本当にお世話になりました。
- 泊まってもよし、いっしょに食事してもよし、ペットもよし家にいる時と同じようにすごせてとても良かったです。看護師さんは、いつもやさしく知識もあり、笑顔で接して下さり、とても感謝しております。余命告知された家族にとって看取することは、とてもつらく、悲しくても、逃げられず…でも尽くしてあげたい気持ちを満たしてもらえました。別れる時間を緩和ケア病棟で過ごせた事で、家族もおだやかな気持ちで見送れたと思います。ありがとうございました。
- この度は父の療養に際し、迅速かついねいなご対応をいただき、ありがとうございました。最初の問い合わせから、面接、入院まで大変スムーズに進めていただいたので、病気による痛みや生活面での苦痛や不便は、本人もほとんど感じることなく過ごせたと感じております。療養前は、一人で気ままに生活しておりましたので、多少の窮屈さはあったもののガンの末期をあのように迎えられたのは、スタッフの皆様方の細やかな配慮と先生方の適切な処置によるものと大変感謝しております。息子夫婦とも勤めに出ており、他に頼れる方もいない中、本当に有難く感謝しております。ありがとうございました。
- その節は、皆様には大変お世話になりありがとうございました。母は、生前より自分の病気をしっかり認識しており「最期は病院で…」と申しておりました。私としては、実家で看取りたい気持ちもあつたのですが、同居でなかったため、お互いの生活に無理が出る事は必至で、母は多分それもよくわかったうえで「入院する」と言ってくれて、日赤に入院しました。でも、日赤での入院生活はストレスだらけの

日々で、私たち家族も心配だし、母がかわいそうで入院させるべきではなかったのでは…とっていました。そんな時、主治医の先生に「緩和ケア」のことを教えていただき本人も含め家族で相談してお世話になることを決めました。そちらにお世話になってからは本人がとても心安らかに過ごさせているようで、私達も安心でした。

いろいろわがままも多く、たくさんご迷惑・お手数をおかけした事と思いますがいつも静かな笑顔で迎えて下さったみなさんに本当に感謝しています。本人のみならず私にまで「心配なことがあったら話してくださいね」と優しく声をかけて下さった事もうれしく思いました。最期の時、着物を着付けていただいて綺麗にお化粧もしていただいて苦しみのない穏やかな安らかな顔で眠っている母を見て「お母さん、綺麗だね。もう痛くなくなってよかったね」そう思いました。本当にありがとうございました。

- その節は、大変お世話になりました。入院してからわずか 10 日程で亡くなってしまったので、十分にゆっくりとした時間を一緒に過ごすことができず残念でした。しかし、小さい子供でも病棟内を自由に出入りできる環境でしたので、孫達が見守る中で最期を迎えられたことは、良かったなあ…と思っています。

改善を希望する点は、

- ・家族と一緒に過ごす時間が長いので、もう少し売店が充実しているとありがたいです。
- ・緩和ケアを行う病院が少ないのが残念です。今後、増えていくことを望みます。

実際に経験してみると、やはり通常の病院とも介護施設とも違う緩和ケアの専門性を感じました。

- 亡くなる数日前の写真を撮っていただきました。今も仏壇に飾ってあります。ありがとうございました。
- 家族だけではどうしようもない状態の期間の間、緩和ケア病棟の皆様には大変お世話になりました。母も心残りはあったかもしれませんが、静かに穏やかに旅立ったと思います。心より感謝申し上げ、皆様もご健康である事をお祈りさせていただきます。ありがとうございました。
- 母が亡くなり 9 カ月がたとうとしています。その節は緩和ケア病棟のスタッフの方々、先生には本当にお世話になりました。ありがとうございました。母にとっては、緩和ケア病棟で過ごしたことは良かったと私は信じています。長男の嫁として私が母に対して、母の価値観を尊重し、常に思いやりのある態度で、常に笑顔で接していられたのか全く自信がないです。もっとできることがあったのではないかな今は後悔ばかりです。

もし出来ることなら、家族のメンタルケア（入院中やその後も…）などしていただけると有り難いと思います。入院中は本当にありがとうございました。大変なお仕事だと思いますが、これからは患者さんやご家族の為に力を貸して下さい。よろしくお願いします。

- 先生はじめ看護師の皆様には本当にお世話になりました。最期の最期まで気配りいただき本当に頭の下がる思いです。今後のご活躍を祈ります。ありがとうございました。
- とても短い間でしたが、大変お世話になりました。もっとこの様な病院が増えてくれたら良いと思います。職員の皆さん全員が、とても優しい方達で良かったです。（嬉しかった）
 - ・加湿器があったら良かったです（笑い）
 - ・まだまだ緩和ケア病棟（岡谷）ある事を知らない方達が沢山います。ケアマネージャーさん達を通してか、何らかの方法でもっと広く知ってほしいです。
- 私達の場合は、病院まで遠かったのでなかなか病棟と一緒にいられる時間が取れなかったのですが、皆様には、とても良くしていただきありがとうございました。
- 1 番最初に緩和ケア病棟に行った時、薄暗くてビックリしました。でも職員さんがゆったりとして対応でとても安心して毎日過ごすことができました。本人は 1 回でもおしっこが出るとその濡れたオムツをつけているのが嫌でこまめにオムツ変えてくれたのが嬉しかったようです。その時におしゃべりした

り笑いあったり、時には不安になって泣いてしまったりしましたが、一緒にその気持ちを分かち合えたのは、本人にとってかなり救われたことだと思っています。

痛みがでた時も、すばやく対応してくれつらい時間はなかったと思います。お風呂に入るのは、とても気分転換になるようで喜んでいました。スタッフさんが、患者をほったらかしということはなく、どのスタッフもよく部屋に入ってきて顔を見たりして、すごく気にかけてくれるので家族もうれしかったです。本人は「ここに来てよかった。」と言っていました。

- 父が塩嶺病院緩和ケアに入れていただけた事、今も大変感謝しています。いろいろな介護施設・病院などで受けてもらいましたが、私たち家族が安心して心豊かに感じる事ができませんでした。父の症状の緩和だけでなく私たち家族の緩和ケアもしていただいたと感謝するばかりです。

父に、いっぱい話しかけていただきました。枕元に季節の花を飾っていただきました。自然の中へも出していただきました。外の空気を感じさせていただきました。私たち家族が行くと、父の様子を細かく話してくださり、常に笑顔で迎えてくれました。父は塩嶺病院緩和ケアに行けて本当に幸せでした。そして私たち家族も共に幸せでいられました。感謝したりない程です。

最期の時期をどう過ごさせたら幸せなのかを、最近よく考えます。塩嶺緩和ケアの看護師さんの様子の心のあるあたたかい雰囲気の中で静かに過ごせたら何よりのしあわせだと思います。看護師の皆さん、大変お世話になりました。皆さんからいただいた想いは一生忘れません。ありがとうございました。

- 岡谷市民病院より貴院へ転院させていただき1年3か月余りの長きに渡り手厚い看護を賜りました。まずはそのことに関し心よりお礼申し上げます。

入院当初は、余命3~6か月程かと推測していたにもかかわらず貴院スタッフ皆様の献的な施しを受け、予想以上の延命でした。院内外の環境と皆様の対応がそうさせてくれたと思います。散歩に出て、池の鯉たちに餌を与えている姿、風呂好きだったこともあり、入浴後にベッドに横たわった時の満足感に溢れた顔、楽団の演奏に合わせて唄を口ずさんで、時には微笑んで、時には涙していた顔、振り返れば幾つも心に残るシーンを思い出します。『ここまで癒してくれるの…』感慨無量でした。至れり尽せりの心遣いは語りつくせませんが、皆様には本当に感謝です。これからも入院されてこられる方々に対して、これまでと変わらぬ対応を宜しくお願いします。そして、最後に、皆様のご健勝とご活躍をお祈り致しております。

- 緩和ケア病棟に入院する前は、なるべく一般病棟に残り母への治療を続けて母が少しでも回復し自宅に戻れればと思いました。(母の状態が良くないということを信じたくなかったからだと思います。)緩和ケア病棟に入院すること=母の死を認めたくなかったからです。

しかし、緩和ケア病棟に入院してから母の死を通して感じたことは、もっと早く入院させてやれば良かったと(母のためには)心から思いました。特に一般病棟にいる時、仕事でなかなか一緒にいる時間が作れず、長く辛い想いをさせてしまったような気がします。緩和ケア病棟に入院してからは、母の気持ちをよく考えた対応をいつも心がけていただいて、心から感謝しています。これからも大変な仕事だと思いますが、一人でも多くの人々の心のケアを続けてください。ありがとうございました。

- 父が、がん終末期で痛みが強くなってきた頃、運良く塩嶺病院の緩和ケア病棟に入れていただけることになりました。短い間でしたが、とても心のこもったケアをしていただき心より感謝しています。本当にありがとうございました。最期まで家で…というポリシーの方もいらっしゃるでしょうが、私たち家族は父も主人も私もとても小心者なので、とにかく「痛み・苦しみのない穏やかな最期を…」と考えており、日頃からそういった事を話題にすることがありました。つまり少しでも長く生きることより、『どういう死に方』が最大の関心ごとだったのです。もう治らないものなら、辛い治療を受けて数か月(数年?)長生きすることより、緩和ケアを受けながら最後まで自分らしく、普通に近い生活がしたい…というのが共通の意見でした。ですから、塩嶺病院の緩和ケア病棟に入院させていただき、24時間体制で

痛い時にはすぐにケアしてもらえる安心感と心のこもった暖かい環境の中で最期を迎えられた父は、本当に幸せだったと思います。死に方は自分で選べませんが、いつの日か必ず来るその日を誰しも痛み苦しみのない穏やかな日にしたいと願っているのではないのでしょうか。

主人も私も緩和ケア病棟がずっとずっと末永く存続してほしいと願っています。

心に残った出来事といえば、父が日に日に増す痛みと死の恐怖からか、ポツリと「困ったなあ…どうなっちゃうのかなあ…」と心細げにいった事がありました。すると、ちょうど近くにいた看護師さんが「そうですね。どうすればいいか一緒に考えましょうね。」と仰ってくださいました。私だったら何の根拠もないのに「大丈夫よ。」位しか言えないのに、看護師さんのその言葉はとってもあたたかくて心に残る一言でした。さすがプロ!!と思った瞬間でもありました。 毎日死と向き合うお仕事は、本当に大変だと思いますが、これからも患者さんとその家族の穏やかな最終章の為に、手をかしていただけたらと思います。先生・スタッフの皆様、本当にありがとうございました。